

一 般 質 問 通 告 書

令和3年 北秋田市議会 12月定例会

順位	2-2	質問者	10	佐藤 文信	(新創会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
<p>1. 農業政策について</p> <p>①米価下落に対する支援策について</p> <p>1) 米1俵(60kg)当り、2,000円の米価下落でJA秋田たかのすでは約5億6800万円の減収が見込まれると想定されていますが、市経済にあたる影響について、どのように認識されているのか伺います。</p> <p>2) 宮城県大崎市、富谷市、青森県青森市、つがる市、三戸町等では、国・県ではできないコメ農家への支援策をきめ細かく取り組む考えで独自に支援策を打ち出しています。</p> <p style="padding-left: 2em;">JA秋田たかのすからの米価下落に対する要請を受けられたと思いますが、どのような対応を考えているのか伺います。</p> <p>2. 地域振興政策について</p> <p>①大館・能代空港3便化実現に向けての取組みについて</p> <p>1) 大館・能代空港発着の羽田線は国土交通省が、地方路線の活性化に向けて優れた提案をした空港に路線を追加配分する「羽田発着枠政策コンテスト」で選ばれ、昨年10月から、ダイヤ上では1日3往復運航する予定となりましたが、新型コロナウイルスの影響で、減便に。現在は2便となっていますが、3便化への足掛りとするために、県と市で運賃助成事業が(12月1日から実施)、冬期間の需要減少期では、特に必要と考えますが、通年利用向上に対する政策も不可欠と思います。特に3便化することで、世界遺産登録された伊勢堂岱遺跡を起点とする観光振興や、市民病院の医師確保、企業誘致などのキーワードになると思います。北秋田市の将来への投資として、3便化へ向けての取組みについて伺います。</p>							

3. 新型コロナウイルス対策について

①感染予防対策の考えについて

1) にかほ市では市内小・中学校のドアノブや手すり、トイレの便座、手洗いの蛇口等に抗菌抗ウイルス効果のあるガラスコーティングを施行することで、感染リスクを減らすことができ加えて、消毒作業に当たる教職員の負担軽減を図る狙いもあり、実施をし効果の持続期間は5年と言われています。

子どもたちが安心して学校生活を送れるよう施行し、今後は保育園や認定こども園でもコーティングを実施する予定であります。当市での感染予防対策としてのガラスコーティングを施行する考えについて伺います。